



JBCC
holdings

第**57**期

株 主 通 信

上半期報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

JBCCホールディングス株式会社

証券コード：9889（東証一部 情報・通信業）

代表取締役社長 ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の2021年3月期上半期（2020年4月1日～2020年9月30日）の事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度は、4カ年の中期経営計画「Transform2020」の最終年度であり、「Transform2020中計の完遂」、「働き方改革の実践」、「高付加価値ビジネスへの集中」を当グループの経営基本方針と位置付け、新型コロナウイルス感染症拡大の中にあっても、お客様のデジタルトランスフォーメーションの支援や技術力の強化、働き方改革のさらなる推進に鋭意取り組んでまいりました。

クラウドサービス、セキュリティサービスやNew SI（新しい手法によるシステム開発）を中心に戦略的注力分野が順調に伸長し、さらに、SI及びサービスでの高水準の期首受注残高に加え、コロナ禍におけるお客様のテレワーク環境の整備需要が拡大したことで、クラウドやセキュリティ関連のビジネス拡大につながりました。

この結果、当上半期の業績は、売上高30,155百万円、営業利益1,561百万円、経常利益1,608百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,065百万円となりました。対前年同期と比べますと減少しておりますが、前年度の数値に含まれておりましたPCのWindows10への更新や保守停止に伴うIBMサーバー更新等の特別な需要を除きますと、営業利益ベースでは増益となっております。

なお、上半期の業績の進捗状況ならびに下半期の見通し等を踏まえまして、通期業績予想及び配当の予想を上半期の決算発表時に上方修正させていただきましたので、併せてご報告申し上げます。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

J B C Cホールディングス株式会社
代表取締役社長

東 上 征 司

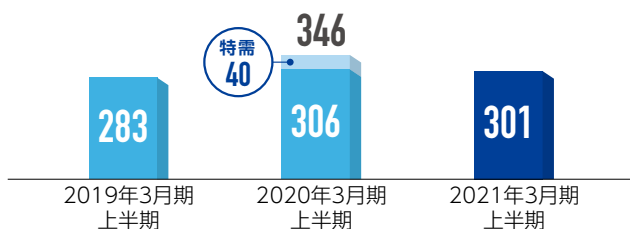


上半期決算ハイライト

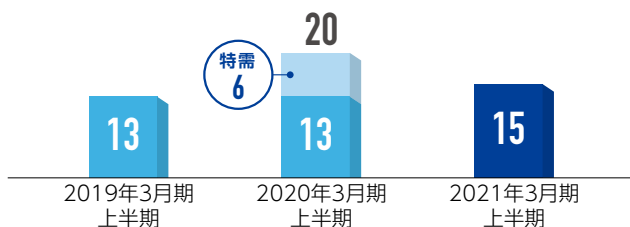
業績予想を上方修正（中期経営計画 目標利益達成をめざす）

(百万円)	期初 業績予想	7月上方修正後 業績予想	10月上方修正後 業績予想	中期経営計画 2020年度計画値
売上高	55,000	56,500	58,000	60,000
営業利益	1,700	2,200	2,700	2,700
経常利益	1,750	2,250	2,750	2,750
親会社株主に帰属する当期純利益	1,150	1,500	1,750	1,750

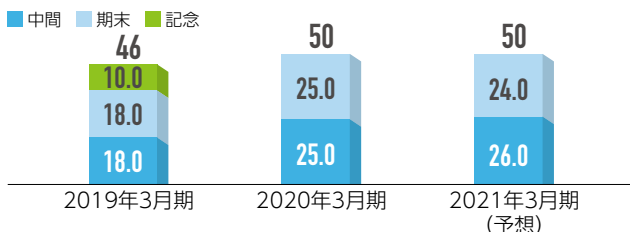
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



1株当たり配当金 (円)



戦略的注力分野 (WILD7) であるクラウドサービス、セキュリティサービス、New SIが伸長したことや新型コロナウイルス感染症拡大によるお客様のテレワーク環境の整備需要が拡大したこともあり、コロナ禍の中ではありますが、業績は当初予想より順調に進捗いたしました。

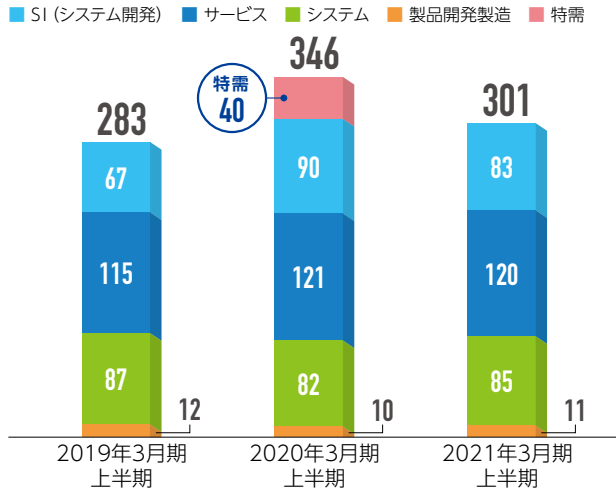
営業利益は対前年同期比で減少しておりますが、PCのWindows10への更新や保守停止に伴うIBMサーバー更新等の特需要因を除くとプラスとなっております。

これを踏まえ、7月と10月に業績予想および配当予想の上方修正を行いました。これにより、利益につきましては、中期経営計画における今期の目標利益の達成をめざすることができる見通しとなっております。

株主の皆様への還元となる配当金につきましても上方修正を行い、前年度と同額の通期配当となる予想としております。今後とも、株主の皆様への還元にも配慮した経営を進めてまいります。

事業分野別ビジネス概況

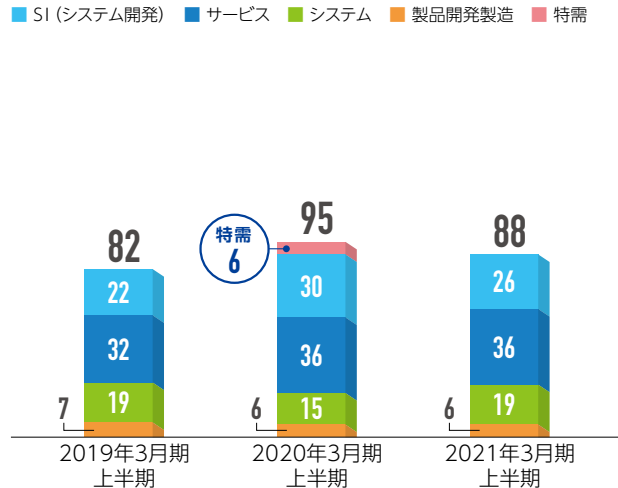
売上高 (億円)



システム開発 (SI) については、新型コロナウイルス感染症拡大による開発進捗への影響が懸念されましたが、Web会議システムやリモートアクセスツールを積極的に活用することで、複数のプロジェクトを予定通りサービスインすることができました。重点分野であるNew SIについては、SE自らがお客様へその価値を語る「SEアドバンス活動」を推進し、利益率の高いNew SIへのシフトを加速させています。また、J B C Cアジャイル開発の手法による超高速開発の大規模案件や、サイボウズ社のクラウド型開発プラットフォーム「kintone」を活用した業務改善アプリケーション開発の案件等についても着実に伸長いたしました。

サービスについては、高水準の期首受注残高に加え、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク環境の構築需要が拡大し、今後の注力分野であるクラウドセキュリティの受注が順調に進捗すると

売上総利益 (億円)



もに、VDI (仮想デスクトップ基盤) やエンドポイントセキュリティをはじめとする各種セキュリティサービスが好調に推移いたしました。また、クラウドサービスにおいても、脱紙・脱Excelを実現する電子化案件や、RPA (Robotic Process Automation) による業務の自動化等、業務のデジタル化のニーズにより新規確保高は堅調に積み上がっております。

システムについては、売上は前年度のPCやIBMサーバーの特需がなくなったことにより対前年同期比で減少しておりますが、お客様のITインフラ環境の課題に関する相談を無料で実施する「ITインフラ最適化クリニック」等により、堅調に推移いたしました。

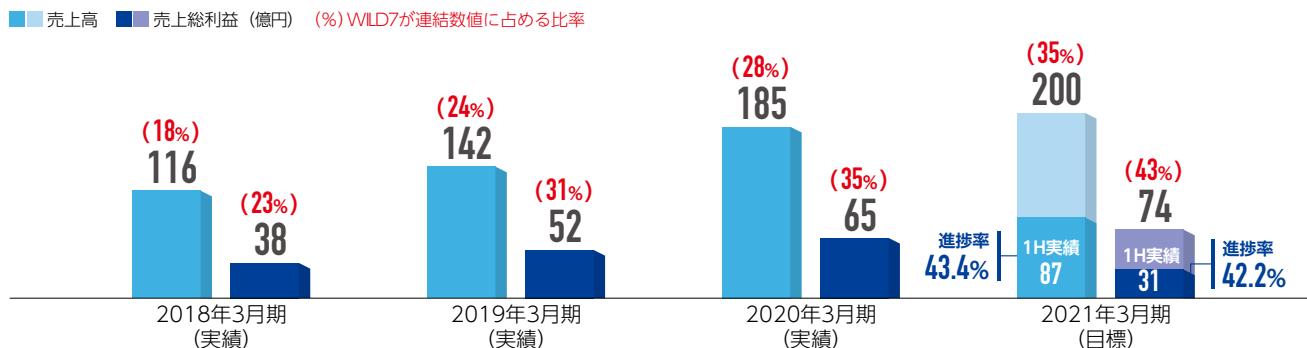
製品開発製造については、将来に向けて戦略製品である「Qanat Universe」のビジネス拡大を視野に奉行クラウドの株式会社オービックビジネスコンサルタント様や楽楽精算の株式会社ラクス様との提携強化を進めております。

7つの注力事業

当社の中期経営計画（2020年度まで）の「Transform2020」では、注力事業として7つの事業を定義しています。WILD7と名付けたこれらの成長分野は、お客様のデジタル変革に貢献する高付加価値ソリューションであり、中期経営計画の中核となる戦略です。



WILD7の進捗状況



当社は事業として付加価値の高いWILD7の伸長に注力し全事業に占める割合を増やすことにより、収益力の向上を図ってまいりました。「Transform2020」の推進により、事業ポートフォリオの変革は着実に進んでおり、今後も高付加価値事業に注力し、より一層収益性の高い企業体となることをめざしてまいります。

全社システムクラウド化、セキュリティ万全対策

お客様概要

建設機械

レンタル販売業

宇建

営業所数：17か所 栃木県内トップシェア、拠点拡大中

従業員数：109名 豊富なラインナップときめ細かなサービスに強み



課題

トラブル対応の業務負担



システムの老朽化
運用・保守の属人化



セキュリティリスクへの不安

提案と効果

フルクラウド化

≫ 安定運用の基盤を実現



クラウドセキュリティ最適化

≫ 資産を守るための適切な投資を実現

インフラ
刷新

万全の
セキュリティ

運用負荷
ゼロ

クラウド＆セキュリティの
トータル運用支援

≫ トラブル発生の不安解消



ゲートウェイセキュリティ



建設機械のレンタル・販売・サービス事業において栃木県内でトップシェアを誇る株式会社宇建様は、ビジネスの成長に伴う本社移転をきっかけに、ITシステムを全面的に刷新することになりました。特に、老朽化したオフコンの運用負荷の軽減や技術者不足などの喫緊の課題を抜本的に解決するため、柔軟で可用性の高いクラウドサービスへの全面的な移行を決断しました。

40年来のITパートナーであるJ B C Cは、これまでの豊富なクラウド活用やセキュリティ提供の経験から、まずセキュリティドクター診断を実施し、

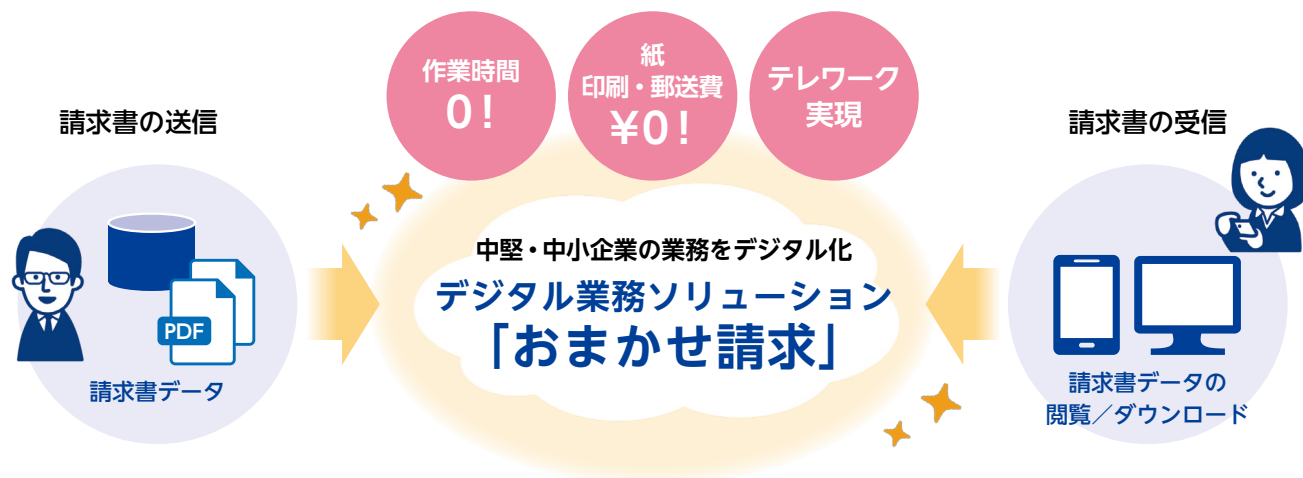
進化するサイバー攻撃に備えてクラウド環境における全方位のセキュリティ対策を実現しました。さらに24時間365日のクラウド＆セキュリティ運用監視サービスを提供しました。

この結果、宇建様では、ITの運用業務から解放されるとともに、クラウド上の情報を活用してお客様にスピーディな提案ができる環境が整備されました。J B C Cは、これからも宇建様のデジタルトランスフォーメーションをともに実現するパートナーとして、中堅・中小企業におけるIT活用の可能性を広げていきたいと考えています。

“サブスク”で請求書の脱紙・脱ハンコを実現

お客様にとっての価値

- ・請求サービスをクラウドで、脱紙・脱ハンコを実現
- ・サブスクリプションで最新の機能を継続して利用可能
- ・クラウドの運用も、セキュリティ対策も全ておまかせ



多くの企業でテレワークを活用した新しい働き方への取り組みが進んでいます。その一方で、中堅・中小企業を中心に、紙の印刷や郵送、伝票への押印を必要とする業務は依然として多く残り、緊急事態宣言下でも業務の担当社員が出社を余儀なくされていました。

J B C Cはこのような課題を解決するため、請求書の発行など、利用用途が高い業務システムをクラウドで利用できるサービスとして提供を開始しました。いつでも、どこでも、クラウドで請求処理を行うことができるため、テレワークでの作業が可能に

なります。また、このサービスはサブスクリプションモデル（月額固定料金）で提供されるため、お客様はシステム構築のための初期投資を大幅に抑え、素早く、低コストで業務のデジタル化を実現し、随時強化・改善される最新の機能を使い続けることができます。

今後も様々な業務サービスを順次提供し、お客様のデジタルトランスフォーメーションを実現していきます。

社員が輝く、JBグループの新しい働き方

ニューノーマル時代の働き方を推進する人事施策「Style J(スタイル ジェイ)」をグループの全社員約2,000名を対象に導入しました。

WILD7をはじめお客様に高い価値をお届けするためには、スキルある優れた人材を採用、育成し、社員一人ひとりが自律して働いてもらうことが不可欠です。新たな人事施策では、時間、場所、年齢、組織を問わず柔軟な働き方ができることを目指し、これまでの人事制度に‘複’業制度やテレワーク環境の支援等を新たに加え、それぞれのニーズやライフプランに合った働き方が選択できるようにしました。

※通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく‘複’数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

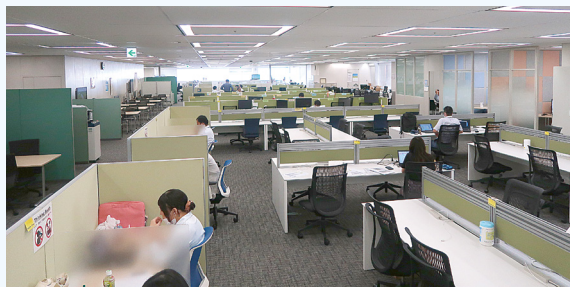
場所、時間を越えた働き方

働く場所・時間を自分で選択

自宅でのテレワークやオフィスへの出社を自由に選択でき、**どこでも同じ利便性で仕事ができる環境を整備**します。働く時間帯を自由に選べるフル・フレックスタイム制や1時間単位での有給休暇取得など、柔軟な働き方を可能にする勤怠制度の充実と併せ、人事評価制度も改善・強化し、働く時間ではなく**成果を重視する働き方へと移行**を進めます。

テレワークに関する制度

- ・テレワークに対応したPC、iPhoneを全社員に貸与
- ・テレワーク環境の整備・充実のための費用を補助
- ・通勤定期代に代わり交通費を実費支給



テレワークが進んだオフィス(2020年9月撮影)

組織を超えた働き方

複業の推進

一つの企業にとらわれず自身の能力を発揮したい、スキルアップを図りたいという希望を持つ社員に対し、**JBグループでの雇用を守りながら複業を行える環境を整備**し、社員のキャリア形成を支援します。

専門スキルを持つ他社社員やフリーランスの人材がJBグループで複業を行うことも推進し、オープンなアイデアやスキル、人的交流から社員と会社が共に成長することを目指します。

年齢を超えた働き方

シニア世代の活躍を推進

これまで培ったスキルや経験を活かして働き続けたいという希望と意欲を持つ社員に対し、継続雇用の上限を設けず、**やりがいを持って長く働ける環境を提供**します。

- ・匠(たくみ)プログラム…60歳以上の雇用制度
- ・極(きわみ)プログラム…70歳以上の雇用制度

※匠プログラム、極プログラム合わせて100名以上がJBグループで働いています。(2020年10月時点)

「Style J」の制度を活用して、いきいきと働く社員をご紹介します



きわみ 極プログラムで経験を活かす

J B サービス
サービスソリューション営業本部

すず き かず や
鈴木 一八さん

極プログラム（70歳以上の雇用制度）で週4日、営業としてフルタイムで働いています。機器の修理やメンテナンスの担当を経て、お客様に安心してシステムをお使いいただけるよう、運用や保守、セキュリティ等の“サービス”を提案しています。今は一時的に減っていますが通常は一日2件程お客様を訪問します。**長年培った経験から**お客様の要望や課題に感じていることを引き出し、内容によっては専門のスキルを持つ部門のメンバーと協力し、チームで最適なサービスを提案します。

人間関係の基本はギブアンドテイクだと思います。お客様、会社にとって必要とされる人であり続けたいという思いで常に仕事をしてきました。お客様に喜んでもらえること、そして営業である以上、実績を上げることが会社への貢献であり私のモチベーション

につながっています。

テレワークが浸透しチャットやWeb会議等、社内のコミュニケーションはぐっと便利になりました。オンラインの勉強会にも参加しています。これからも初心を忘れず全力で働きたいと思っています。



3か月の育児休暇を取得

J B C Cホールディングス
経営管理

くず の ひろのり
葛野 弘典さん

6月末に第一子が生まれました。子育てはこれから長く続きますが、家族が同じ時間を過ごし、子育てに専念できる時期は今しかないと思い、3か月の育児休暇を取得しました。J Bグループは個人の考えが尊重され、**自分の目標やライフプランに合った働き方を選択できる**風土が根付いているので、男性中心の部門のメンバーも自然な流れで受け入れてくれました。予定より早く育児休暇に入りましたが、Web会議等のコミュニケーションツールでスムーズに引継ぎを行うことができました。

育児休暇中は仕事は完全オフで育児に向き合い、充実した幸せな時間を過ごすことができました。市役所や保健所の方からは驚かれたり、「素敵ですね」なんて嬉しい声をかけていただくことも！まだまだ世間では珍しいことかもしれません。

働きやすい環境や制度が充実していることに加え、社内の前例が私の育児休暇取得の後押しになりました。私の事例も誰かの後押しになり、社会全体で男性の育児休暇取得が当たり前になるといいなと思っています。



財務の状況

1 現金及び預金

現金及び預金は、主に子会社株式を取得したことにより減少しました。

2 その他（流動資産）他

流動資産その他、流動負債その他、退職給付に係る負債、固定負債その他は、主に、自律的で自由度の高いフレキシブルな働き方に対応するため、退職一時金制度が一部残っていた退職金制度を確定拠出年金に移行したことにより、それぞれ増減いたしました。



当期連結決算の詳細は当社ホームページ
 【IR資料室(決算短信)】に掲載しています。

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/>

連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前連結会計年度末 2020年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	27,181	25,592
1 現金及び預金	9,605	8,849
受取手形及び売掛金	10,995	13,270
商品及び製品	1,418	1,655
仕掛品	414	260
原材料及び貯蔵品	298	261
2 その他	4,447	1,295
固定資産	9,915	10,629
有形固定資産	2,290	2,101
無形固定資産	539	654
投資その他の資産	7,086	7,872
資産合計	37,097	36,221
負債の部		
流動負債	13,001	14,272
支払手形及び買掛金	4,587	4,864
短期借入金	330	330
リース債務	211	243
2 その他	7,872	8,834
固定負債	8,345	4,842
2 退職給付に係る負債	7,026	170
2 その他	1,318	4,672
負債合計	21,346	19,114
純資産の部		
株主資本	15,507	16,325
資本金	4,713	4,713
資本剰余金	4,905	4,936
利益剰余金	7,899	8,564
自己株式	△2,011	△1,888
その他の包括利益累計額	222	759
その他有価証券評価差額金	562	782
為替換算調整勘定	△1	△18
退職給付に係る調整累計額	△338	△5
非支配株主持分	20	22
純資産合計	15,750	17,107
負債・純資産合計	37,097	36,221

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
3 売上高	34,613	30,155
売上原価	25,064	21,294
売上総利益	9,549	8,860
4 販売費及び一般管理費	7,512	7,298
営業利益	2,037	1,561
営業外収益	140	103
営業外費用	50	56
経常利益	2,127	1,608
特別利益	—	186
特別損失	40	78
税金等調整前四半期純利益	2,086	1,716
法人税等	708	647
四半期純利益	1,378	1,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,377	1,065

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前第2四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	657	267
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△133	△543
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△507	△485
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△15
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5	△776
現金及び現金同等物の期首残高	7,496	9,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,502	8,668

3 売上高

売上高は、前年度のPCやIBMサーバーの特別な需要が終了したため減少しました。

4 販売費及び一般管理費

販管費は、主に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お客様向け大規模イベントを対面型のイベントからWebセミナー開催へ切り替えたこと、テレワーク環境に移行したことにより交際費及び旅費交通費が減少しました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動キャッシュ・フローの増加は、主に税金等調整前四半期純利益、退職金制度変更にともなう退職給付に係る債務の減少等及び売上債権増加によるものです。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動キャッシュ・フローの減少は、主に子会社株式取得によるものです。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動キャッシュ・フローの減少は、主に配当金の支払いによるものです。

株主様アンケートの結果を ご報告します。



アンケート概要

実施期間

2020年6月19日～7月22日

回答方法

はがき、インターネットによる回答

回答人数 1,932名

前回発行の第56期株主通信で実施しましたアンケートでは、多くの株主の皆様からご回答をいただきました。ご回答いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。貴重なご意見を参考に、JBグループをご理解いただける、株主通信の充実を図ってまいります。

株主通信について

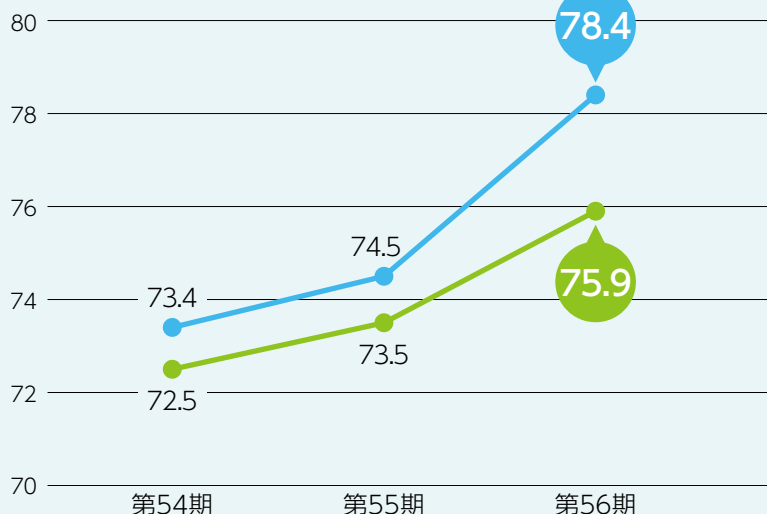
満足度、わかりやすさ

満足度、わかりやすさともに、昨年のポイントを上回るご評価でした。「全体的に株主目線で作られていて、とてもわかりやすかった」「内容、文章とも理解しやすく良かった」など多くの方にコメントいただきました。一方、「横文字やカタカナの言葉が多く、わかりづらい」といったご意見もいただいております。

当グループをわかりやすく、よりご理解いただける株主通信となるよう、今後とも改善に努めてまいります。

● 満足度（全般） ● わかりやすさ

（満足度指標※）



※満足度指標について

5段階評価で、評価が高い順に100点/75点/50点/25点/0点と加重平均して、平均を出す評価方法を用いて、数値化しています。75ポイント以上で評価が高いとされています。



寄せられたご意見をご紹介します

アンケートでは、数カ所にコメントをご記入いただく欄を設けましたところ、当グループへの励ましのお言葉やご要望など様々なコメントをお寄せいただきました。一部をご紹介します。



株主総会がオンラインで 観覧できて良かった

ありがとうございます。当社では、「定時株主総会」や「決算説明会」の動画を公開しております。遠方や当日ご都合がつかないなどでご出席いただけない場合は、こちらをご覧ください。



働き方改革を実践する社員の 方々の話が面白かった

ありがとうございます。当社では、皆様によりご理解を深めていただけるよう、現場で働く社員の声をお届けする社員紹介ブログを掲載していますので、ご覧ください。



動画配信

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/movie/>



社員紹介

<https://www.jbcchd.co.jp/news/member/>



企業の認知度を上げる 活動に期待

皆様の目に触れる機会を増やすため、様々なメディア（新聞、雑誌、Webなど）を通じた活動を行ってまいります。また、日々の活動は、FacebookやTwitterなど、SNSでも積極的に発信してまいります。掲載されたメディアは、こちらをご覧ください。



SDGsに関する積極的な活動に期待

J Bグループは、SDGsに注力する事業活動を関連付けながらお客様の課題を理解し、最適なITソリューションをご提案することが、重要な役割だと考えております。今後も、お客様企業のSDGs目標達成を支援するとともに、地域や社会の持続性と成長に貢献してまいります。



メディア掲載

<https://www.jbcchd.co.jp/corporate/media/>



CSR

<https://www.jbcchd.co.jp/csr/>



実施報告は、
当社ホームページで
ご報告しております。

「よくあるご質問」では、ご質問の一部の回答もご案内しています。
また、「IR資料室」では、以下の資料をご確認いただけます。
決算短信／有価証券報告書／株主通信／決算説明会資料／株主総会資料／動画配信

投資家のみなさまへ

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/>



SDGs (持続可能な開発目標) サステナビリティへの取り組み



J Bグループは、国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」(2030年に向けた持続可能な開発に関する17の目標と169のターゲット)の達成に寄与することを意識してCSRへの取り組みを推進しています。



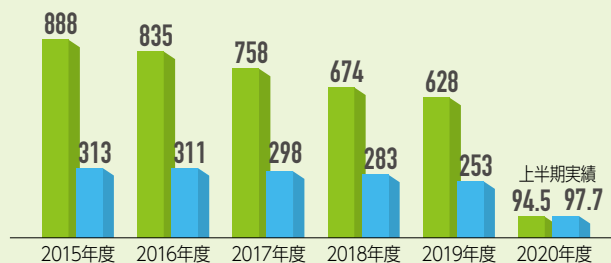
J Bグループでは、環境への影響を継続的に改善するため、2005年より国内全事業会社でISO14001活動を推進しています。

今年度は、62チームが「紙」「ごみ」「電気」の削減を進めると共に、お客様に環境に配慮した商品・サービスを提供するなど、従業員一人ひとりが日々のビジネス活動を通して取り組んでいます。

活動目標設定では、それぞれの活動がSDGsのどのゴールにつながるのかを明確にし、持続可能な社会への貢献を意識して進めています。

J Bグループ紙／電気年間使用量

■ コピー紙 (万枚) ■ 電気 (万kWh)



「J Bグループ環境方針」はこちらでご確認ください。

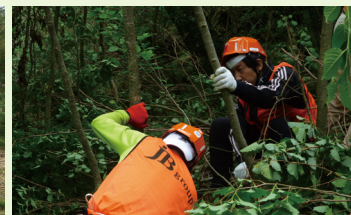
<https://www.jbcchd.co.jp/csr/eco/>



「富士山の森づくり」活動が、 全国育樹活動コンクールで林野庁長官賞を受賞

この度、J Bグループが公益財団法人オイスカと連携し、CSRの環境保全活動として2017年より参加している「富士山の森づくり」推進協議会の活動が、全国育樹活動コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。

引き続き良き企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。



昨年度の活動の様子

<http://www.oisca.org/news/?p=12805>



会社概要 (2020年9月30日現在)

社 名 J B C Cホールディングス株式会社
(JBCC Holdings Inc.)

本 社 所 在 地 〒144-8721
東京都大田区蒲田5-37-1
ニッセイ アロマ スクエア

設 立 年 月 日 1964年4月1日

資 本 金 47億13百万円

グループ社員数 1,933名
(別途有期社員：203名)

役 員 (2020年9月30日現在)

取 締 役 会 長 山 田 隆 司

代表取締役社長 東 上 征 司

取 締 役 三 星 義 明

高 橋 保 時

吉 松 正 三

長谷川 礼 司 (社外)

井 戸 潔 (社外)

取締役監査等委員 谷 口 卓 (常勤)

今 村 昭 文 (社外)

渡 辺 善 子 (社外)

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 86,000,000株

発行済株式の総数 17,773,743株

株主数 7,072名

大株主 (上位10位)

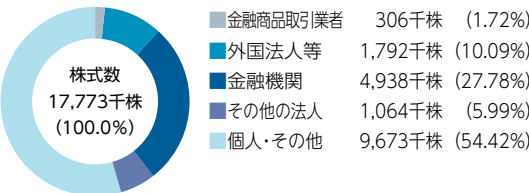
順位	株主名	所有株式数	
		千株	%
1	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,712	10.63
2	J B グ ル ー プ 社 員 持 株 会	1,266	7.86
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,159	7.20
4	富 国 生 命 保 険 相 互 会 社	614	3.82
5	J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.13000000	353	2.19
6	株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	278	1.73
7	谷 口 君 代	200	1.24
7	明 治 電 機 工 業 株 式 会 社	200	1.24
7	安 田 倉 庫 株 式 会 社	200	1.24
10	日 本 電 通 株 式 会 社	182	1.13

(注1) 上記には、当社名義の自己株式1,664千株は含まれておりません。

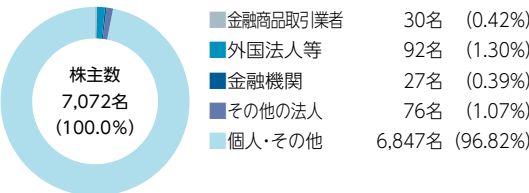
(注2) 上記の比率は「発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合」です。

所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)

株式数



株主数





ホームページをご活用ください。

URL <https://www.jbcc.co.jp/ir/>



決算などの財務内容、プレスリリースなどを紹介しています。ご質問、ご意見などをお寄せいただくコーナーもございます。



動画配信

URL <https://www.jbcc.co.jp/ir/library/movie/>

定時株主総会や機関投資家向け決算説明会の動画など、当社経営者のメッセージ動画を配信しています。

ソーシャルメディアを活用し、情報をお届けしています。



Facebook

<https://www.facebook.com/jbccchd>



YouTube

<https://www.youtube.com/jbccchd>



Twitter

<https://twitter.com/jbccchd>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金 3月31日
 受領株主確定日
 中間配当金 9月30日
 受領株主確定日
 定時株主総会 毎年6月に開催
 株主名簿管理人
 特別口座 三菱UFJ信託銀行株式会社
 口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 電話 042-204-0303 (通話料有料)
 受付時間9:00～17:00 (土・日・祝日等を除く)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告掲載URL <https://www.jbcc.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社など)を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定の詳しいお手続きにつきましては、お取引先のある口座管理機関にお問い合わせください。

JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は

e-mail: ir@jbcc.co.jp



社長Twitter開設のお知らせ



時代の変化にあわせて、情報発信方法も多様でありたいとの思いから社長の東上がTwitterアカウントを開設しました。日々感じたことや会社経営に対する思いなどをつぶやきます。



URL <https://twitter.com/higashishiejbcc1>



IRメール配信サービスのご案内

無料

当社ホームページの「IRニュース」などに掲載された各種新着情報を、メールでご案内しています。「株主・投資家情報」左メニューの「IRメール配信サービス」よりご登録ください。